



# お天気解説 アキラのズバツと

「春に向かって」

## 桜の開花日と気温を比べてみました

令和7年2月21日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

2月も半ばになり、桜の花が咲くのか楽しみになってきました。昨年3月1日号「桜の開花はいつ?」で紹介しましたが、桜の木は冬に休眠します。そのためには冬の寒さが必要です。しっかり休眠した桜の木は、春先に暖かくなればパツと目覚めて勢いよく咲きます。

| 年     | 前年11月から当年1月の最低気温の平均 | 春先(2~3月)の日平均気温の平均 | 開花日   |
|-------|---------------------|-------------------|-------|
| 2018年 | 3.7℃                | 8.6℃              | 3月16日 |
| 2024年 | 6.1℃                | 8.8℃              | 3月29日 |

表 秋～冬が寒かった年の桜開花日の比較(東京都心)

今回は秋から冬にかけての寒さのちがいで、開花にどのくらいちがいがあるのか東京都心の桜開花日で比べてみましょう。

まず、前年11月から当年1月までの毎日の最低気温の平均を調べてから、秋～冬の気温が低かった2018年、高かった2024年を選んでみました。2018年は冬の寒さが厳しく、東京都心の2017年11月から2018年1月にかけての毎日の最低気温の平均は3.7℃でした。一方、暖かい冬だった2024年は2023年11月から2024年1月にかけての平均が6.1℃でした。どちらとも春先(2~3月)の気温はほとんどちがいがありません。これらの開花日を比べると、冬が寒かった2018年は3月16日、暖かかった2024年は3月29日でした。冬の寒さのちがいで開花日が2週間ぐらい変わったことになります。

やはり、冬の気温が高いと休眠がしっかりできず、春先に暖かくなっても目覚めに時間がかかり開花が遅れるようです。ちょうど、私たちの睡眠の感覚に近いですね。

開花日は、ほかに冬の寒さのほかに春先の暖かさのちがいも影響します。一般に春先の気温が高いほど花芽の生長が早くなります。実際に開花を予想するには「温度変換日数」という式を使って少し複雑な計算をします。さて今年の開花予想日はいつでしょう?それは次回に!

2025年02月21日11時 気象庁 発表

| 日付              | 今日<br>21日(金) | 明日<br>22日(土) | 明後日<br>23日(日) | 24日(月)       |
|-----------------|--------------|--------------|---------------|--------------|
| 東京地方            | 晴時々曇<br>     | 晴時々曇<br>     | 晴時々曇<br>      | 晴時々曇<br>     |
| 降水確率(%)         | -/-/20/10    | 0/20/20/0    | 30            | 20           |
| 信頼度             | -            | -            | -             | A            |
| 東京<br>気温<br>(℃) | 最高           | 10           | 9<br>(7~10)   | 10<br>(8~11) |
|                 | 最低           | -            | 1<br>(0~3)    | 0<br>(-1~2)  |

東京地方の週間天気予報より

(気象庁HPから抜粋)

連休の天気は、概ねよさそうですが、所々でにわか雪やにわか雨が降る可能性があるようです。

クリックすると気象庁による新しい情報が見られます。